

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議
だい き だい ねん だい かい だい にち
(第9期 第2年 第1回 第2日)
ぎじろく
議事録

1 日時 2013(平成25)年5月26日(日)午後2時～5時

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 22人

うー ちゆん おう ゆうしん やん いー わん びん あん よんいる なかむら じゅでいす こん みるすく ちえきん
呉 群、王 夕心、楊 奕、王 平、安 栄一、中村 ジュディス、孔 敏淑、崔 想、
ばく ちゃん ほ、 しゃるま が じえんだー、 けお ばさあと らつあみちゃん、 がん
朴 昌浩、シャルマ ガジエンダー、ケオハサアト ラツアミチャン、ガン
リョンイン、仲田 シリワン、グエン ゴク バオ リン、セヌー ジョアキム、
やなぎさわ あんな、 ころんつい かろる、 おいで おりえった、 しゃひん せるかん、
柳澤 アンナ、コロんツイ カロル、生出 オリエッタ、シャヒン セルカン、
しふけん ぶらんどん、 ちゃーと デビと、 ちよう ひようせい
シフケン ブランドン、チャート デビと、張 氷青

(2) 事務局

よこやま しつちよう、 いがらし たんとう かちよう、 むかい かちよう ほさき、 やぎ かちよう ほさき、 おおた
横山 室長、五十嵐 担当 課長、向井 課長 補佐、八木 課長 補佐、大田
かちよう ほさき、 ふえき かかりちよう きたづめ しよくいん、 おさない しよくいん、 たかはし せんもんちようさいいん
課長 補佐、笛木 係長、北爪 職員、小山内 職員、高橋 専門調査員

4 傍聴者 8人

5 会議次第(公開)

(1) 開会のあいさつ

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 閉会

【全体会】

わんびんいんちよう
王平委員長「それでは、2013年度第1回第2日の川崎市外国人市民代表者会議を
開催する。本日は園田さん、ダンカンさん、サルヴィオ・ローズマリーさんの
かいさいい
3名が欠席となっている。5月22日に私と副委員長のガジエンダーさんが、

川崎市の市議会に年次報告をしたので報告する。安委員とセヌー委員が傍聴者として来ていただいた。

続いて、事務局から説明をお願いします。」

(事務局向井課長補佐が配布資料について説明。)

王平委員長「続いて、代表者の委嘱について事務局から説明をお願いします。」

(事務局向井課長補佐が代表者の委嘱について説明)

王平委員長「新しい委員の張さん、自己紹介を。」

張委員「代表者になって、とても光栄だ。残り1年足らずだが、その間にできる限り代表者という責任を果たすつもりだ。代表者になるのは初めてなので、なるべくみんなに迷惑をかけないようにしたいと思う。」(拍手)

王平委員長「残り少ない時間だが、ぜひ頑張っていたきたい。続いて、前回会議のまとめを事務局からお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき前回会議のまとめを報告。)

王平委員長「それでは、議事に入る。まず、事務局から代表者の補充について、説明をお願いします。」

(事務局向井課長補佐が代表者の補充について説明。)

王平委員長「事務局から説明があったように、法邑さんが5月に帰国をした関係で辞任されたが残り任期が1年未満になっているため、補充はしないこととする。異議がなければ挙手を。(挙手)

続いて、成人式企画実施委員会委員及びかわさき市民祭り実行委員の推薦について、事務局から説明をお願いします。」

(事務局北爪職員が成人式実行委員と市民祭り実行委員について説明。)

王平委員長「去年、成人式企画実施委員をやられた王夕心さん、簡単で構わないので、何か実行委員をやった感想があればお願いします。」

王夕心委員「去年は、合計5回ぐらい会議があり、どういった調整が必要か、また何人ぐらい来るのか、といった計画を立てた。また、イベントについても、どういった歌手やダンスパフォーマンスが良いとか、そういう計画も一緒に考えたりした。私自身にとっては結構いい経験になり、成人式という日本の文化について詳しく理解することができた。」

王平委員長「それでは、今年度の成人式企画実施委員になりたい人は、挙手をお願いします。(王夕心委員が挙手)では、去年と同じく王夕心さんをお願いします。賛成する方は挙手をお願いします。(全員挙手)続いて、かわさき

市民祭り実行委員について、挙手をお願いする。」

朴委員「今週の金曜日の実行委員会にはどうしても都合がつかないのだが、それさえクリアすれば。」

事務局北爪職員「実行委員会だが、基本的には代表者の方に出席していただきたいがどうしても難しいということがあれば事前に調整させていただいて、事務局が代理で出席するというのも可能だ。」

王平委員長「ほかの申し出がなければ、朴さんをお願いしたいが、賛成する人は挙手をお願いする。（全員挙手）続いて、多文化フェスタさいわいについて、事務局から説明をお願いする。」

（事務局北爪職員が多文化フェスタさいわいについて説明。）

王平委員長「ではまず、この多文化フェスタさいわいについて、9月29日の日曜日に参加できる人は挙手をお願いする。（15名）次に、多文化フェスタさいわいへの参加に賛成する方は、挙手をお願いする。（20名）では、参加するにあたっては、時間の関係で事務局の方でいろいろと進めていただくということで賛成の方は挙手をお願いする。（21名）もし何か補足や意見、質問があれば。」

朴委員「打ち合わせなどの議事録があれば、今後の参考にしたいのでファックスかメールで送っていただきたい。」

事務局北爪職員「わかりました。」

（崔委員と呉委員から実行委員会の変更について申し入れ。）

王平委員長「では、まず崔さんが市民祭り実行委員会に移ることに賛成する方は、挙手を。（全員挙手）続いて、呉さんがニューズレター実行委員会に移動することを賛成する方は、挙手をお願いする。（全員挙手）それでは、部会審議に入る。」

【福祉教育部会】

王平委員長「福祉教育部会を始める。園田部会長が欠席ということで、私が代行させていただきます。まず、前回会議の内容の確認を事務局からお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料1に基づき前回会議のまとめについて説明。）

王平委員長「まず、前回審議した母語教育についてまとめたい。川崎市がもし何かやっていたらいいのならば一番いいのだが、個人や団体によっても考え方が違って来るので難しい部分もあるかと思う。」

今日は、異文化交流に入りたいのだが、残りの時間も少ないので、もし可能であれば、今日一旦まとめるかたちで終わらせたい。それでは、異文化交流について事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料2-2と2-3に基づき説明。)

王平委員長「まず、イベント関連の異文化交流についてだが、川崎市で何かこういったイベントをまとめたものがあるとわかりやすいと思う。例えば2月はこういったイベント、3月はこういったイベント、何区であるとか。川崎市のホームページ上でそういった情報が掲載できるならば、していただきたいのだが、どうか。」

事務局五十嵐課長「現状で申し上げますと、どうしても、たとえば開催する区ですか、そういったところがそれぞれチラシを作るなどの広報をしている。あとは市政だよりやホームページ等で広報をしている。」

王平委員長「外国人代表者会議のホームページにリンクを貼るのはどうか。」

仲田委員「私は多摩区で委員をやっているのだが、知り合いはみんな区役所に来て、チラシなどを自分で取っていくか、あとは口コミが多いと思う。インターネットはあまりチェックしていないと思う。」

王夕心委員「提案なのだが、例えば国際交流イベントとか、こういう会議のメーリングリストをつくってみたらどうか。」

王平委員長「先ほどの仲田さんの話だと、各自がチラシを窓口で取るということだが、今は二極化しているのかなと思う。パソコンに慣れてしまっている人は、もう全てパソコン、インターネットで検索すれば情報は手に入ると考えている。一方で、インターネットに慣れていない方々もいらっしゃるので、実際にチラシなどを印刷して、窓口においてもらって初めて情報を知ったという場合もある。両方のケースに対応をしていかなければいけないのではないかとと思う。」

続いて、学校における異文化交流について議論していきたい。何か提案や意見はあるか。」

仲田委員「小学校の社会科の授業で世界の国について学ぶ機会があり、担任の先生から話をして欲しいと相談を受けたのだが、自分はプロフェッショナルではないのでどんなことを話せばよいかわからない。川崎市にそういった授業のためのシステムがあると良いのではないかとと思う。」

崔委員「異文化交流の話もそうだが。チラシとインターネットは、どちらも必要だ

とは思う。ただし、そこでリンクをしないと意味がないと思う。そして、その
チラシ、インターネットよりも重要なのは口コミで、口コミをしていくためにも
リンクをどんどん増やしていかないといけないのではないか。」

王平委員長「リンクも大事だが外国人代表者会議の委員が積極的に宣伝や広報に出
て行かなければいけないのではないかと思う。」

残りの会議の回数を考えると次のテーマに進みたいのだが、まずは乳幼児
の子育てについて自由な意見と次回の審議までに必要な資料についても希望を
出してもらいたい。」

崔委員「先ほど学校やイベントなどで異文化交流の話がありましたが、乳幼児とか、
子育てに関して、そういったママ友のサークルなどの交流はあるのか。特に、
外国人のためのサークルはあるのか。」

王平委員長「私が知っている例だと、ふれあい館では、1カ月に1回くらい土曜日
に外国人のママが集まって、話をしたり交流したりしている。」

崔委員「僕の妻が毎週、国際理解講座というのを受けているのだが、日本人のママ
もいれば、外国人のママもいっぱいいて、子供の問題とか、子育ての不安をみ
んなで話し合うということをしている。そういった活動や情報をもっと
アピールしていけばいいと思うのだが。」

仲田委員「多摩区では外国人広場という、0歳から幼稚園に入る前くらいまでの子
どもが一緒に遊んで、その間にお母さんたちが話せる場所がある。今年から毎月
第2金曜日だけテーマを決めて話すということをはじめた。例えば、9月の
テーマは、子どもが幼稚園に行くためにお母さんたちがどんなことを準備する
のか。テーマはボランティアさんたちが決めているのだが、本当は区役所の
職員さんが一緒に入ってくれるといいと思う。」

ケオバサート委員「子育てに関しては、保育園や幼稚園の時期が一番大変なのでは
ないかと思う。入る前にもいろいろな手続きがあるし、入ってからもチラシがい
っぱい毎日かばんの中に入れて帰ってくるが読めないときもあるし、わから
ないときもいっぱいある。そういったことに対して、川崎市では何か支援があり
ますか。区役所などでは相談が受けられますか。」

シフケン委員「日本語ができないお母さんたちのために、英語と中国語のような2
つか3つぐらいの言語で例えば予防接種のような大事なお知らせができるとい
いのではないかと思う。その場合、予防接種などのスケジュールはどれくらい
の幼稚園で統一されているのか知りたい。」

事務局高橋専門調査員「よろしいですか。まず、今の段階では調べていないのでわからないことが多く、正確なことは申し上げられないのですが、先程から情報という意味で、社会生活部会で話し合われている内容と重複している部分が幾つかあるので、参考までに社会生活部会の情報を提供したい。

一つは、例えば予防接種のような日本の制度について、特に両親が外国人の場合だとわからなかったりするというのは、社会生活部会でも出ていた。提言になるかどうかはまだわからないが、子どもの年齢ごとに必要な情報が載っている一覧があるとわかりやすいという意見があった。

もう一つは、学校からの通知等についてですが、やはり言語に関しては、どの言語にするかとか、すべての言語には対応できない、といったことについては難しい問題があるので、まずはやさしい日本語であれば比較的対応をすることができるのではないかという意見が社会生活部会からは出ていた。」

王平委員長「乳幼児の子育てについてですが、結構待機児童という問題もあると思う。仕事に行くために、子どもを保育園に預けたい。でも、仕事をしてないと保育園には預けられない、という矛盾がすごく出ていると思う。そうすると、例えばどうしても保育園に入れたい場合は、海外にいる両親を呼び寄せて、とりあえず一旦子供の面倒を見てもらって、保育園に入れるというケースが結構ある。」

仲田委員「待機児童の問題だが、実際には外国人だから入るのが難しいのではなくて、日本人も同じ状況だと思う。」

王平委員長「では、乳幼児の子育てについては事務局に資料を準備していただいて、次回改めて審議をすることにしたい。それと、高齢者福祉というテーマも残っているのだが、こちらもどのような資料を用意してもらうか、意見があればどうぞ。」

朴委員「概要がわかるようなパンフレットがあれば用意していただきたい。」

王平委員長「高齢者福祉に関する過去の提言もまとめておいていただきたい。それでは、以上で福祉教育部会を閉会する。」

【社会生活部会】

チャート部会長「社会生活部会の部会審議を始める。今日の予定は、まずは前回の内容確認をした後、情報伝達と提言への取組状況の評価について審議する。この審議については、今回で終わらせたいと思っている。そして、後半は

就職支援の審議に入りたいと思う。それでは、事務局から前回の内容確認をお願いする。」

(事務局北爪職員が資料1に基づいて前回会議のまとめについて説明。)

チャート部会長「前回の内容について、質問や補足があるか。(なし)では、情報伝達のテーマに移りたい。事務局から説明をお願いする。」

(事務局北爪職員が資料3-2に基づき説明。)

チャート部会長「では、説明や意見はあるか。」

孔委員「受付状況の集計結果は、英語の数か、それとも全体の数か。」

事務局北爪職員「全体だ。英語での問い合わせケース自体がかなり少ないので、数字が出せるのは、全体の数になる。」

チャート部会長「市の行政の所管内だが結局対応できなかったという場合は、統計上は『問い合わせ』になるのか、それとも『提案・要望』になるのか。」

事務局北爪職員「確かではないが、『提案・要望』のほうになるのではないかなと思う。『問い合わせ』は多分、答えられる、対応できるといったものかと思う。」

シャルマ副委員長「毎年統計をとっていると思うのだが、その統計を使って問題を改善するための対応はしているのか。」

事務局北爪職員「まず『所管外』に関しては、区分としては市の担当ではないということなので、対応はしていないと思う。提案や要望に関しては、所管の部署に引き継がれるが、その後、具体的に個々のケースでどのような対応をしたかということまでコンタクトセンターで把握するのは難しいと思う。ただ、要望が多く、市で対応ができそうなものについては、改善をするという努力はしていると思う。」

呉委員「意見ではなくて感想なのだが、思った以上にちゃんとした仕組みがあって対応しているなという印象だ。課題としては、この仕組みが、日本語だけではなくて多言語でできるようになればいいと思う。」

柳澤委員「あとはホームページのFAQのキーワード検索がもう少し改善されると、より充実するように思う。」

チャート部会長「簡単に改善できる課題点は、ひとまず見当たらない。では、提言の取組状況についての審議に移りたいが、よろしいか。(異議なし)それでは、事務局から説明をお願いする。」

(事務局向井課長補佐が資料3-3に基づき多文化共生施策検討委員会について

説明。)

チャート部会長「では、何か質問があるか。」

柳澤委員「この委員会というのは、今は平成23年から平成26年までとなっているが、その前の委員会も同じメンバーなのか。」

事務局向井課長補佐「委員会の任期は3年になっている。メンバーは少しずつ変わっている。」

柳澤委員「わかりました。現在の委員のうち1人は代表者会議の経験者であるということなのだが、その委員たちに何か代表者会議のお知らせなどは送ったりしているのか。」

事務局向井課長補佐「代表者会議のOBの方にはニューズレターを毎回送っている。それと、委員には2012年の年次報告も送っているので、それぞれ目を通していると思う。」

ガン委員「具体的にどういう活動をされている委員会なのか。」

事務局向井課長補佐「市の施策に多文化共生施策推進指針という指針があるのだが、各所管がその指針に沿って施策を進めているかということ、市長から委託された第三者機関としてチェックしている委員会だ。」

チャート部会長「この委員会は年間で何回ぐらい行われるのか。」

事務局向井課長補佐「年間6回開催されている。」

柳澤委員「年間6回では、私たちの依頼を検討してもらうのには少なすぎるのではないと思う。そもそも委員会には本来の仕事と役割があるので、私たちの依頼は追加の仕事ということになる。」

呉委員「5人という人数も少ないと思う。ただ、この委員会に対して人数や回数を増やしてくれという要望を私たちが言うことはできないだろう。」

シャルマ副委員長「少し話が変わるかもしれないが、この提言への取組状況の評価について、別の委員会をつくるというのは可能か。」

チャート部会長「それは難しい。別の委員会を設置することはできないと思う。」

柳澤委員「だとすると、まずは多文化共生施策検討委員会に私たちの依頼を受けてもらうことが可能かどうか確認するのがいいだろう。全体会で代表者会議として依頼をするかどうかの議決をとればいいのではないか。」

チャート部会長「事務局へ質問だが、全体会で議決をとった方がいいか。」

事務局向井課長補佐「全体会で議決をとる前に多文化共生施策検討委員会に話をしてみ、委員会の意向を確認したい。その上で、もし可能ということであれば

全体会で議決をとるという形が良い。」

チャート部会長「わかりました。では、あまり時間は残っていないが、就職支援の審議に入りたい。テーマの提案者であるシャビンさんから何かあるか。」

シャビン委員「近年、日本で暮らす外国人の数が増えている。日本の企業が世界の企業と競争するために、外国人市民たちの労働力を効率よく利用できたらいいと思っている。そこで、川崎市の企業が市内に暮らしている外国人の雇用を促進するためには、どうしたらいいのか具体的な案を考えたいと思っている。」

柳澤委員「すごくいいテーマで、多分困っている人はたくさんいると思う。1つだけ確認なのだが、ハローワークは市がやっているものですか。」

事務局向井課長補佐「国がやっているものだ。」

柳澤委員「ハローワークに外国人部門というのをつくれば、それが一番簡単ではないかと思う。」

孔委員「横浜や川崎では、月曜日と木曜日はスペインとか火曜日と金曜日は韓国語とかいった具合に、言語によって曜日ごとに分かれて対応をしている。それと、入り口には外国人が来たときの受付もあるので、そこに行けば、少しは情報ももらえるかもしれない。」

チャート部会長「そろそろ時間になるので、事務局に次回の資料のお願いを。ハローワークや、市あるいは県でやっている外国人を対象とする就職支援のような活動の紹介をお願いしたい。」

ほかに何かあるか。(なし)では、次回は多文化検討委員会からの回答を確認して、必要であれば全体会での審議にもっていきたい。主な審議は、就職支援についてということになる。9月の会議からは、提言に向けた準備を始めることにしたい。以上で、部会審議を終わりにする。」

【全体会】

王平委員長「それでは、全体会を再開する。まず、それぞれの審議内容について報告をお願いする。」

チャート部会長「今日は、情報伝達、提言への取組状況の評価と、就職支援の3つのテーマについて審議した。まず情報伝達について、前回は、川崎市の総合コンタクトセンターのサンキューコールで、問い合わせに答えられない場合はどう対応するかについて、事務局に調べていただいた。今のところ答えられな

い質問や問い合わせに対して、解決に向けてきちんとした制度が設けられていることがわかったので、余り提言したい問題点はなかった。提言への取組の評価については、今回は事務局から多文化共生施策検討委員会という市の委員会があることを説明された。この委員会と何らかの形で連携することができるのか、その可能性について継続して検討する。就職支援については、このテーマに入るだけで終わった。すでにある組織や施設についての情報を事務局に準備してもらって、次回詳しく審議をするつもりだ。」

王平委員長「同じ部会から何か補足があれば、お願いします。（なし）ほかの部会から何か質問、意見があるか。」

朴委員「福祉教育部会でも情報発信ということで少し似たような議論がでたので、ぜひ課題として検討していただきたい。」

王平委員長「福祉教育部会は園田部会長が欠席ということで私が代行した。まず母語については、市が取り組んでくれればありがたいが、提言にまとめるというのは少し難しいのでは、ということになった。異文化交流については、イベントなどの行事の広報は市のホームページに掲載されるかどうか、各区のNPOなどとリンクして情報を発信したらどうか、メーリングリストで情報を発信できたらどうか、などの意見が出た。また、乳幼児の子育てについても話をした。外国人保護者向けの交流会があるか、また市の外国人出生数の情報があるかどうか、子育ての情報の提供といったものはあるかどうか、などの意見が出た。また、今後議論をしていくテーマとして、高齢者福祉に関して事務局には今までの提言と取組状況について資料を準備してもらった。同じ部会で何か、補足はあるか。（なし）ほかの部会から、質問、もしくは意見はあるか。」

柳澤委員「いろいろな人数を調べるということだが、子どもが外国人であれば国籍で判断することができるので簡単だが、ハーフの子どもの数は把握ができていないと思う。そして、ハーフの子どもも母国語や日本語の問題を抱えている場合もある。そのあたりも念頭に置きながら、審議をしていただきたい。」

王平委員長「ほかの委員から何か質問、意見はあるか。（なし）では、実行委員会の報告にいきたい。まず、臨時会実行委員会について私から報告する。今日は、会議の目的について話し合った。方式としては、まだ暫定ではあるがオープン会議としてやる方向だ。それと、今までと同じく交流パーティーも行う。」

つづいてニューズレター編集委員会から報告をお願いします。」

生出委員「今日は、全体のレイアウトを考えました。第10期の募集を、1ページ使い、大きく載せることにした。第10期の募集のために、代表者の声を集めたいので、事務局からの連絡が来たら、事務局に連絡をしてください。」

王平委員長「既に時間がすぎているですが、あと10分くらい延長したいので、賛同する方は挙手をお願いします。（全員挙手）次に、市民祭り実行委員会から報告をお願いします。」

事務局北爪職員「市民祭り実行委員会は、本日実行委員長を決めることが時間的に難しかったので、話し合った内容を簡単に事務局から説明させていただく。まず、今日はインターナショナル・フェスティバルinカワサキでどのような展示をするかということ話し合い、代表者会議における年間の活動の様子を、大きめの写真を添えて説明するような内容にできたらどうかという話になった。それと、もし電源を使えてパソコンを用意することができるのであれば、パソコンを利用する方法についても話が出た。次回以降、具体的な内容と、実行委員長を決めたり、市民祭りの内容を検討したりということに入っていくことになる。」

王平委員長「最後に事務連絡があれば、事務局からお願いします。（なし）では、以上で2013年度第1回第2日の川崎市外国人市民代表者会議を閉会する。」